

ビール大麦「サチホゴールド」を 有望品種に選定

「サチホゴールド」の特性

品種名	サチホゴールド	ミハルゴールド
成熟期 (月/日)	5/22	5/27
稈長 (cm)	80	84
子実収量 (kg/10a)	428	419
子実蛋白質 含有率(%)	10.3	10.6



上:サチホゴールド 下:ミハルゴールド

開発のねらい

県産ビール大麦の既存品種「ミハルゴールド」では、縞萎縮病が2015年頃から発生しており、生産性の低下が懸念されています。そこで、縞萎縮病に抵抗性を有し、多収でビール醸造特性に優れる品種を選定しました。

新技術の概要

- 選定した「サチホゴールド」は、これまで栽培されてきた「ミハルゴールド」より成熟期が5日早く、縞萎縮病に抵抗性を有します。
- 子実収量、外観品質及び蛋白質含有率は、「ミハルゴールド」とほぼ同じです。

活用場面

本品種は令和2年に県の地域適用優良品種に採用され、4年産から農家の一般栽培が始まりました。高品質なビール大麦の安定供給が可能になると同時に、本県の水田農業の発展につながります。